

2019年1月15日
日本メジフィジックス株式会社

PET 検査用放射性医薬品製造拠点「北陸ラボ」からの出荷開始 ～北陸地域での安定供給を盤石に～

PET (Positron Emission Tomography; 陽電子放射断層撮影法) 検査*1用放射性医薬品の新たな製造拠点となる「北陸ラボ」は、このたび、医薬品製造業、卸売販売業の許可取得等、一連の手続きを完了し、2019年1月15日からFDG スキャン®注 (一般名:フルデオキシグルコース (¹⁸F)) の出荷を開始いたしました。

当社は、悪性腫瘍等の診断に有用とされるPET 検査用放射性医薬品の研究・開発に取り組み、2005年からFDG スキャン®注を製造・供給しています。FDG スキャン®注に使用される放射性同位元素のフッ素18 (¹⁸F) は半減期が約2時間と非常に短いことから、FDG スキャン®注の製造所から供給できる範囲が制限されます。そのために、当社は全国に製造拠点 (PET ラボ) を開設し、各地域の医療機関にFDG スキャン®注の安定供給を行ってまいりました。北陸地域においては、愛知ラボおよび京都ラボから長距離輸送してまいりましたが、北陸ラボ稼働により、今後は盤石の体制で北陸地域にFDG スキャン®注を安定供給してまいります。

当社のPET 検査用放射性医薬品の製造拠点は11拠点*2となります。当社は、FDG スキャン®注を含めたPET 検査用放射性医薬品の安定供給とバックアップ体制の充実を今後も継続してまいります。

「北陸ラボ」の概要は以下のとおりです。

名称	: 日本メジフィジックス株式会社 北陸ラボ
開設地	: 富山県小矢部市 (小矢部フロンティアパーク内)
規模	: 建築面積 約 1,000 m ² 延床面積 約 2,000 m ²
構造	: 鉄筋コンクリート造および鉄骨造 地上2階
主要設備	: サイクロトロン、自動合成装置、自動製造装置、自動搬送システム等
総投資額	: 約 23 億円

*1 放射線を放出する微量の薬剤を患者さんに注射し、薬剤が病気の患部に集まる様子を体外から撮影することにより、病気の状態を診断する画像検査法の一つです。

*2 北海道札幌市、岩手県北上市、群馬県藤岡市、東京都江東区、神奈川県小田原市、富山県小矢部市、愛知県豊田市、京都府八幡市、兵庫県神戸市、岡山県岡山市、福岡県久留米市

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックス株式会社は、放射性医薬品の国内トップメーカーとして、放射性医薬品の研究開発、製造、安定供給に日々取り組んでいます。当社は、国内の核医学診断分野で培った技術力と信頼をベースに、既存事業の枠を超えた新たな事業分野となる『セラノスティクス (治療と診断の融合)』の早期実現を目指しています。当社は、生命関連企業としての価値創造を継続し、社会に貢献していきます。日本メジフィジックス株式会社の詳細情報は <https://www.nmp.co.jp> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社 (URL: <https://www.nmp.co.jp>)

総務人事部 (広報担当) 東京都江東区新砂 3-4-10 電話 03-5634-7006 FAX 03-5634-5170